

# 令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	32
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	農業振興対策事業					
予算科目	6 款 1 項 3 目					
予算事業名	農業振興費					
総合計画での位置づけ	農業の恵みを守り、高める					
担当課	産業振興課	担当課長	久芳 義則			
事業担当者	笠 利恵		一次評価者	阿部 桂介		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	久山町農業振興事業補助金交付規則					
事業の対象	農協、農業者および農業者が組織する団体、小学校					
事業の目的	本町の農業振興を図るため、農協、農業者が組織する団体、町内の小学校が実施する農業体験など、農業振興事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金および交付金を交付し、久山町農業の持続・発展を図る。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	農業振興指導事業・・・粕屋地区の農業振興を図るため、農協が実施している担い手対策・産地のブランド化・交流事業に対し支援を行い、持続的な農業の展開と粕屋地域の農業活性化を図る。 食農教育事業・・・小学校での米や野菜作りの体験を通じ、児童の農業に対する理解を深め、食育を推進する。 農産加工事業においては、町内の意欲ある農業団体の地域農産物を活用した加工・販売の取組を支援する。					
目的達成の指標	補助金交付団体数					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目 標	団体	5	5		
	実 績	団体	4	4		
指標設定の考え方	久山町農業振興事業補助金交付申請団体数					
事業遂行時懸案事項等	農産物・農産加工物のブランド化を図るためにも新たな担い手の掘り起こしが必要。					
事業実施時懸案事項対応等	新たな担い手や農産加工グループの新組織が設立されることが望ましいが、現在、町内に農産加工場が一箇所しかなく、既存の農産加工グループがみそ・ポン酢など生産活動を行わない間は、町内の地域住民がみそ作りに加工場を使用しているため、新規団体は既存の加工場を使用できないと考える。担い手の掘り起こしと合わせて加工場の新設も必要。					

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 181 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.09	0.09	0.08	
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	661	679	570	0
事業費	直接事業費	1,361	939	1,261	1,261
	人件費	661	679	570	0
	合 計	2,022	1,618	1,831	1,261
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,022	1,618	1,831	1,261
	合 計	2,022	1,618	1,831	1,261

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	1,361	939	1,261	1,261	
実 績	1,724	947			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
農協	千円	803	745	775	
		804	639		
花卉部会	千円	58	0	0	
		0	0		
農産加工グループ (若葉会・縁家)	千円	200	100	100	
		300	100		
食育助成金 久原小学校・山田小学校	千円	200	200	200	
		200	200		
その他団体補助金	千円	100	100	0	
		0	0		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 185 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.08	0.09	0.09	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	574	679	710	
事業費	直接事業費	1,724	939	947	
	人件費	574	679	710	
	合 計	2,298	1,618	1,657	
財源内訳	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源	2,298	1,618	1,657	
	合 計	2,298	1,618	1,657	

## 実施備忘録

自己評価	評価者	笠 利恵
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	1	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	1	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

#### 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

農協が実施している担い手・ブランド化・交流事業等への支援については、粕屋地区1市7町で行っており、就農・帰農者の育成や担い手育成づくり、特徴ある粕屋管内農産物のブランド化などは、農業者の加速する高齢化や担い手育成のためにも必要な事業である。今後作成する人・農地プランにもいかされていくと考える。

農産加工グループについては、町主催のイベントや県主催の町村フェアなど幅広く意欲的に活動し、町のPR等に取り組んでいる。

児童の食農教育事業については、田植え・稲刈り・餅つきなど米作りや野菜栽培など、農業の体験活動を通じ久山町や国の農業について認識を深めている。農業に触れ興味をもってもらうことは、将来の担い手確保にもつながり継続して行う必要がある。

#### 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

農産物のブランド対策も必要だが、農業振興には農業者の高齢化対策が急務である。新たな農産加工グループの組織作りとあわせ、担い手の掘り起こしが急務である。

小学校については、米作りを通じ他校との交流を計画されたり、自作の野菜の販売や調理などを行いながら、各校がそれぞれ特徴ある活動をしされており、引き続き農業の楽しさを教育していただきたい。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	阿部 桂介
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

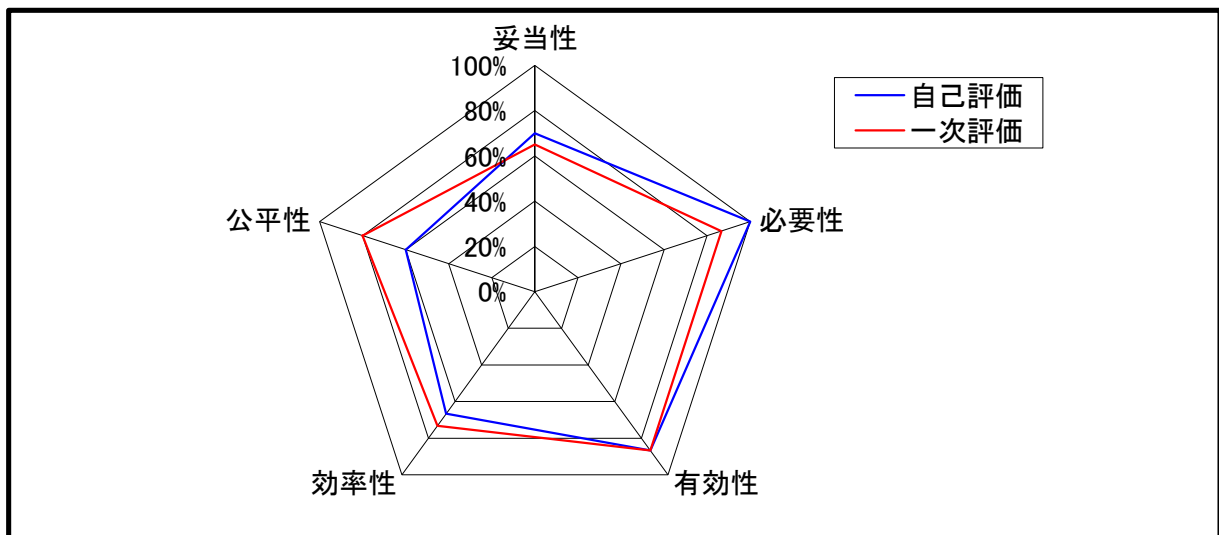
項目	評点	判定
<b>1. そもそも必要な事業か？</b>		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
<b>2. 町が実施する必要があるか？</b>		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となるのが法令等により定められている ※該当する場合は左の口をチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
<b>3. 実施内容は適切か？</b>		
<b>①有効性</b>		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
<b>②効率性</b>		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
<b>③公平性・透明性</b>		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

糟屋地区の農業振興に関しては営農指導を行っているJA粕屋と協力して農業振興を進めており農協が主体となっていて振興事業に対しての補助は必要であると考えます。また久原・山田両小学校で実施している食育事業や独自でみそ・ポン酢を生産している加工グループに対しての補助に対しても必要と考えます。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	久芳 義則
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

それぞれの役割を持ち活動しており、今後も農業振興を行ううえでは必要である

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--